

# CMC GROUP

**2018年9月期  
通期決算・成長戦略説明会**

- 1. 2018年9月期 通期決算 (2017年10月～2018年9月)**
- 2. 2019年9月期 業績見通し (2018年10月～2019年9月)**
- 3. 事業紹介**
- 4. 成長戦略**

# 2018年9月期 通期決算

## 2018年9月期 業績

売上高・営業利益は過去最高を更新し、ほぼ業績見通し通りに着地

売上高： **181億円**                      前年同期比 **7.3%増**  
営業利益： **20億円**

### マーケティング 事業

技術マニュアル制作の好調に加え、M&Aの効果が寄与

売上高： **161億円**                      前年同期比 **7.7%増**  
営業利益： **19億円**

### システム開発 事業

物流関連システムのソフトウェア開発の売上高が増加

売上高： **19億円**                      前年同期比 **3.4%増**  
営業利益： **1億円**

## 営業利益の増加要因

- ・売上高：技術マニュアル制作の好調に加え、M&Aの効果が寄与
- ・売上原価：製造部門でのICT活用の高度化による原価低減

単位:百万円	2018年9月期	2017年9月期	前年同期比
売上高	<b>18,114</b>	16,889	7.3%
売上総利益	<b>6,204</b>	5,421	+14.4%
販売管理費	<b>4,202</b>	4,049	+3.8%
営業利益	<b>2,001</b>	1,372	+45.8%
営業利益率	<b>11.0%</b>	8.1%	+2.9point
経常利益	<b>2,076</b>	1,534	+35.3%
当期純利益	<b>1,322</b>	938	+41.0%

## 固定資産の増加要因

- ・ I C T 研究開発拠点「CMC GROUP NAGOYA BASE」開所に伴う設備投資の増加
- ・ M & A によるのれん及び関係会社株式の増加

単位:百万円	2018年9月末	2017年9月末	前年同期比
流動資産	<b>11,832</b>	11,901	▲0.6%
現預金	<b>7,762</b>	7,262	+6.9%
固定資産	<b>5,608</b>	4,776	+17.4%
総資産	<b>17,441</b>	16,678	+4.6%
流動負債	<b>2,778</b>	2,958	▲6.1%
固定負債	<b>1,567</b>	1,514	+3.5%
株主資本	<b>12,760</b>	11,943	+6.8%
純資産	<b>13,094</b>	12,204	+7.3%

売上高：**181**億円

営業利益：**20**億円

增收増益  
過去最高益

単位：億円



# 2019年9月期 業績見通し

## 売上高拡大を前提に、新規投資を実施

単位:百万円

単位:百万円	2019年9月期	2018年9月期	前年同期比
売上高	19,996	18,114	+10.4%
営業利益	2,000	2,001	▲0.1%
経常利益	2,046	2,076	▲1.4%
当期純利益	1,343	1,322	+1.5%
配当金	36円	36円	—

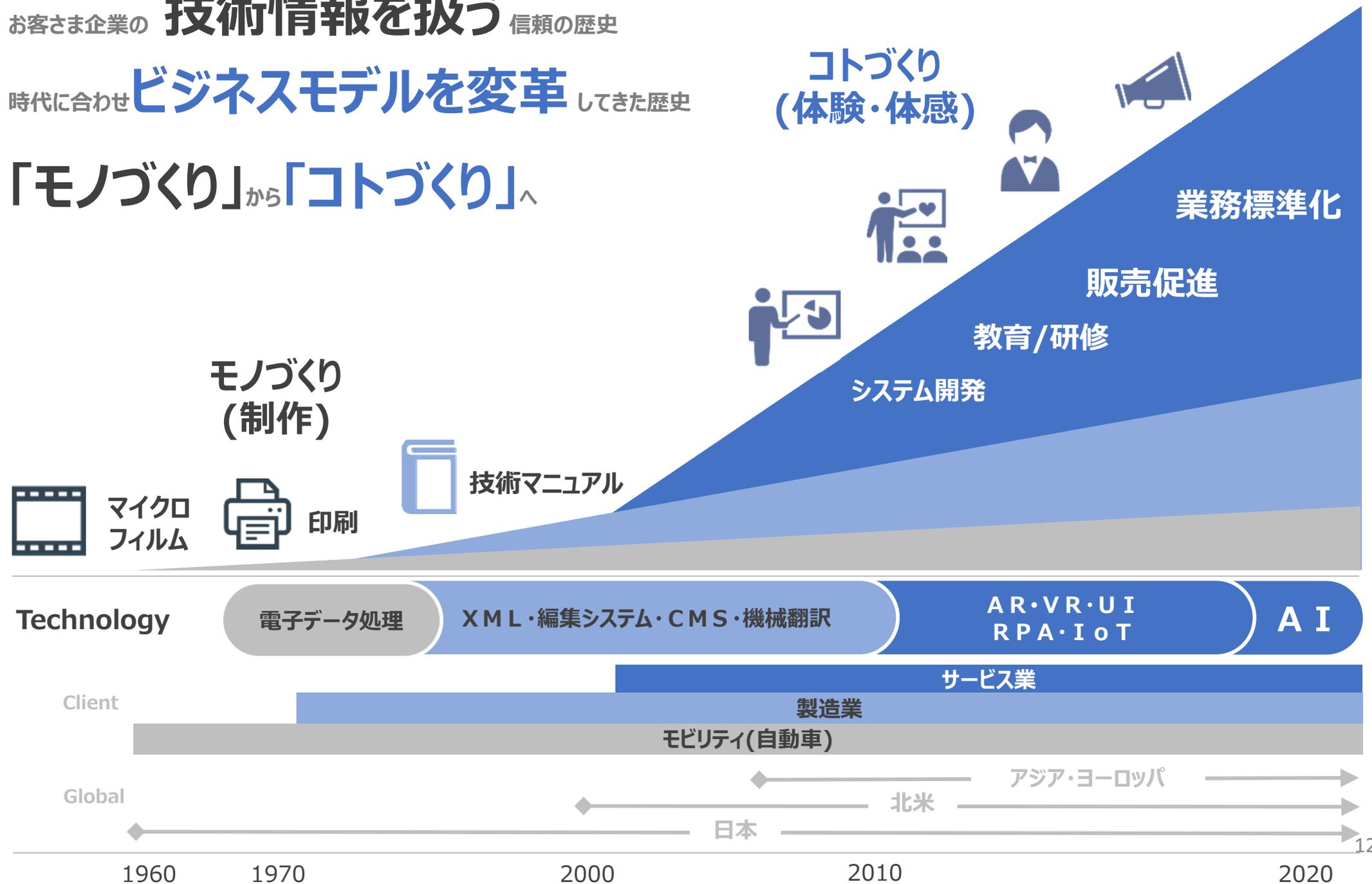
# 事業紹介

▶ 商号	株式会社シイエム・シイ
▶ 本社	名古屋市中区
▶ 創立年月日	1962年(昭和37年)5月25日 ※第58期
▶ 連結売上高	181億円(2018実績) 199億円(2019予想)
▶ 連結営業利益	20億円(2018実績) 20億円(2019予想)
▶ 子会社数	連結8社(国内 4社、海外 4社) 非連結6社(国内 1社、海外 5社)
▶ 海外拠点	USA、中国(4拠点)、台湾(2拠点)、タイ(2拠点)、シンガポール、 オランダ、フランス、ポーランド 計13拠点
▶ 連結従業員数	969名
▶ 市場・証券コード	JASDAQ(スタンダード) 2185

お客さま企業の **技術情報を扱う** 信頼の歴史

時代に合わせ **ビジネスモデルを変革** してきた歴史

「モノづくり」から「コトづくり」へ



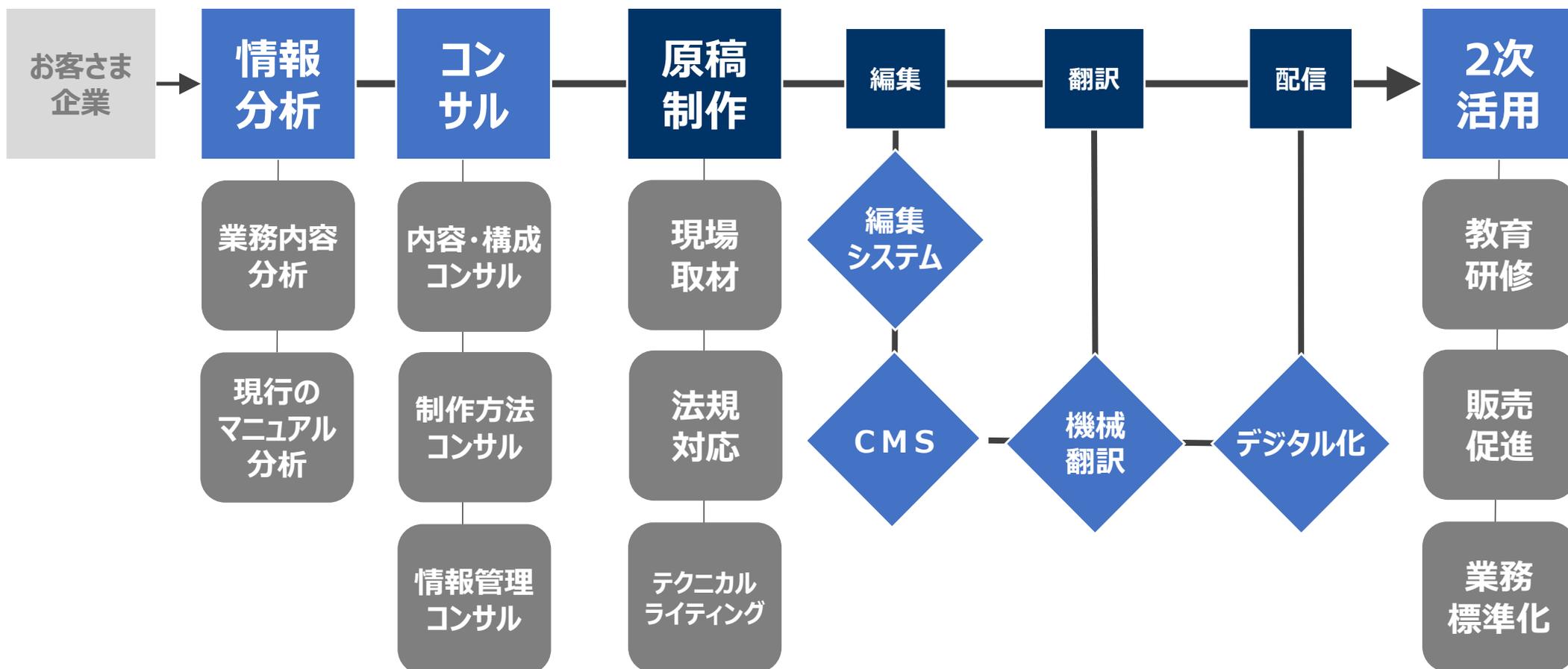
# マニュアルの一步先へ。

## ①情報の整流化

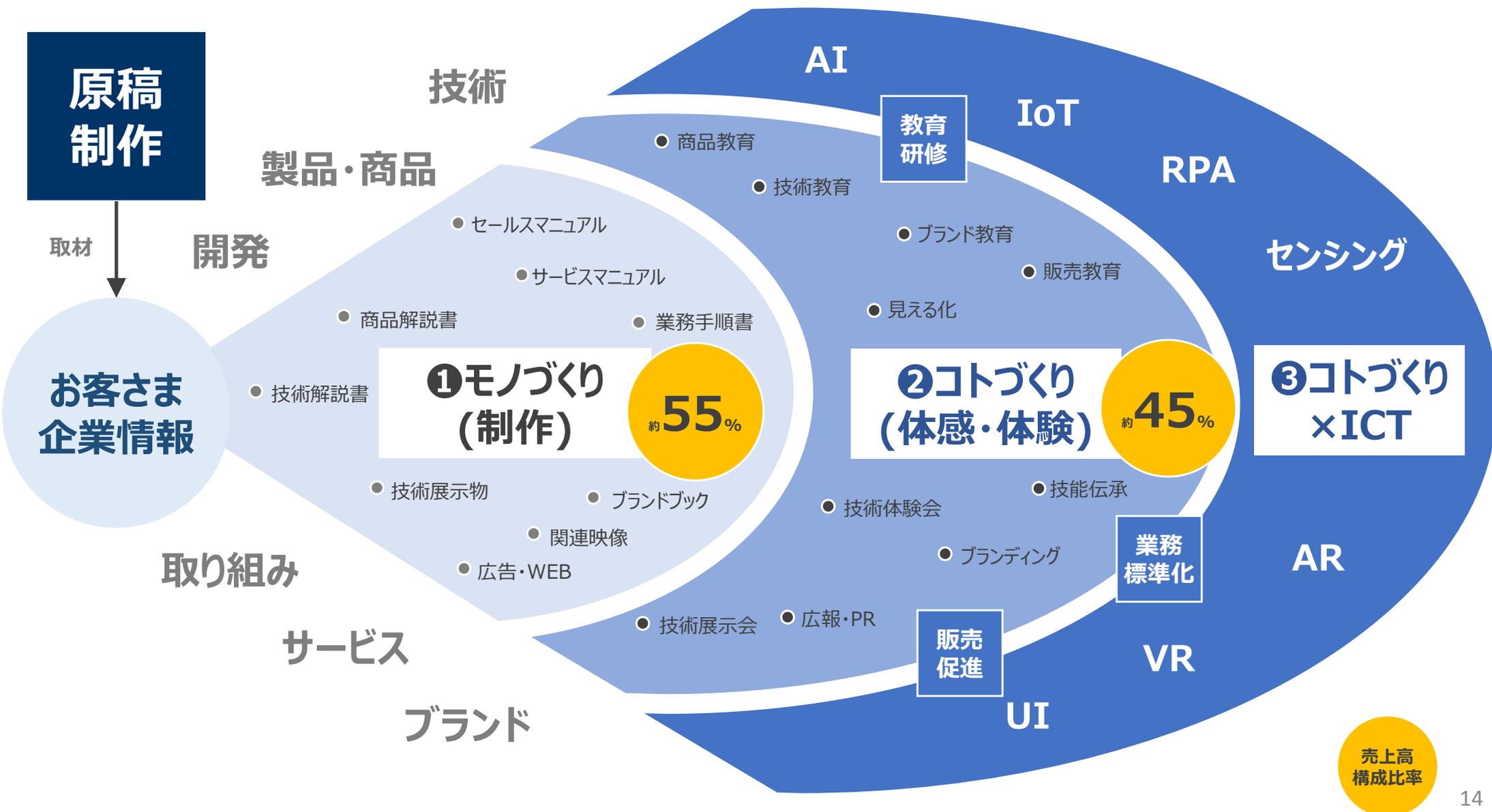
## ②原稿制作

## ③ICT活用

## ④2次活用



お客さま企業を知り尽くす ことから 多様な「モノづくり」を実現、さらに「コトづくり」へ展開



# ICTを活用し、精度の高い「コトづくり」を実現



## マニュアル×AI

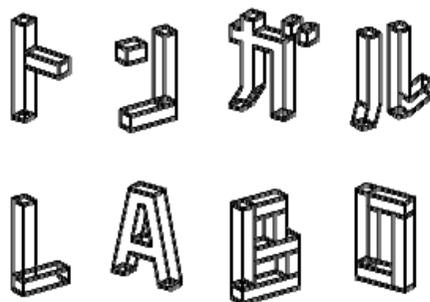
音声エージェントマニュアル

## 標準化×センシング

技能伝承・業務標準化

## 技術解説×VR

安全訴求コンテンツ



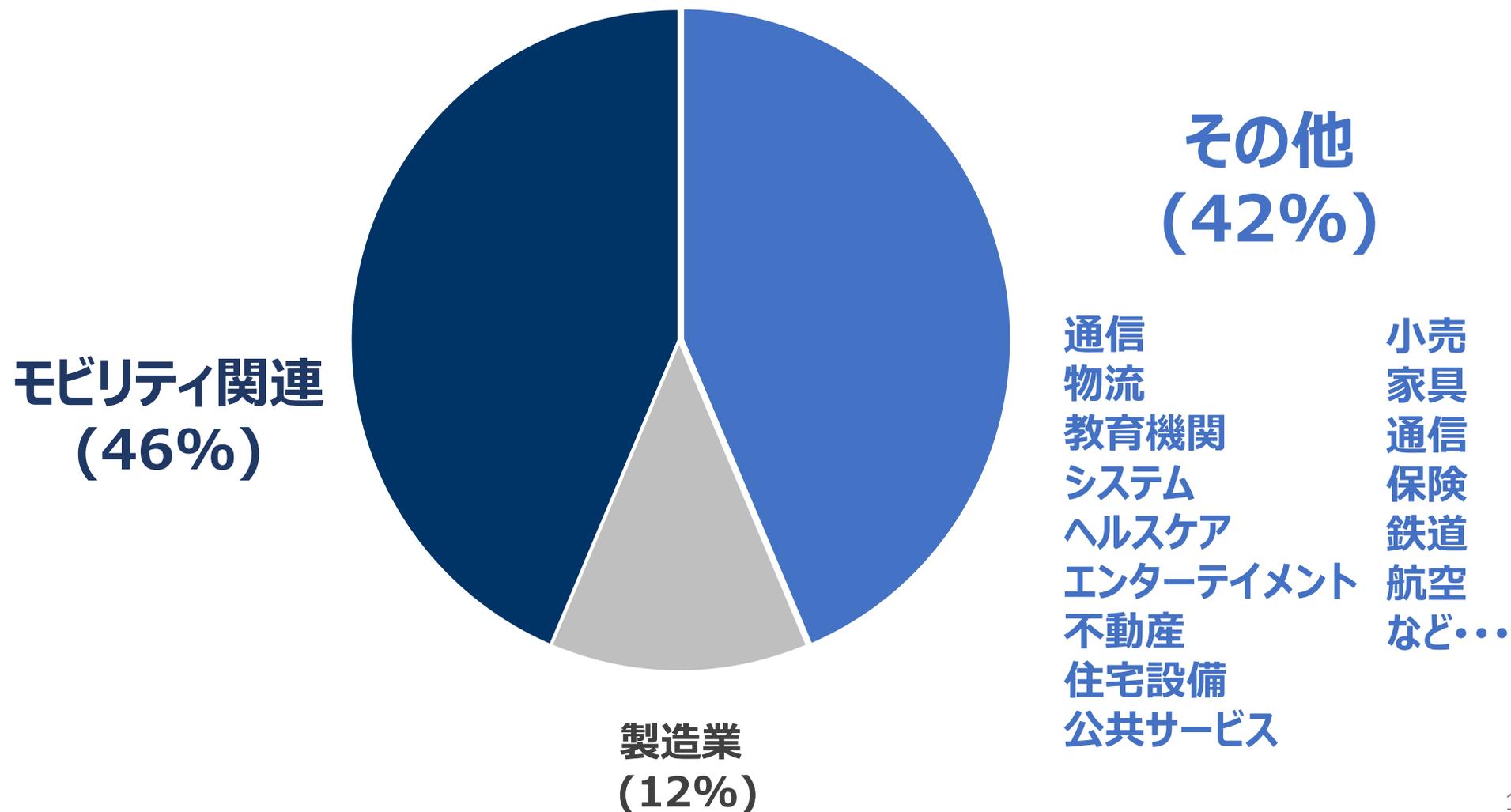
2018年4月OPEN 研究開発拠点新オフィス  
**CMC GROUP NAGOYA BASE**

オープンイノベーションセンター  
**トンガルLABO**

CMC GROUP | INNOVATION CENTER

# モビリティ(自動車)関連 の知見を活かし **他業種へ拡大中**

※2018年9月期 上位顧客100社の構成



# 成長戦略

グループ全体の価値創出をはかる、CMCグループ新創業の期

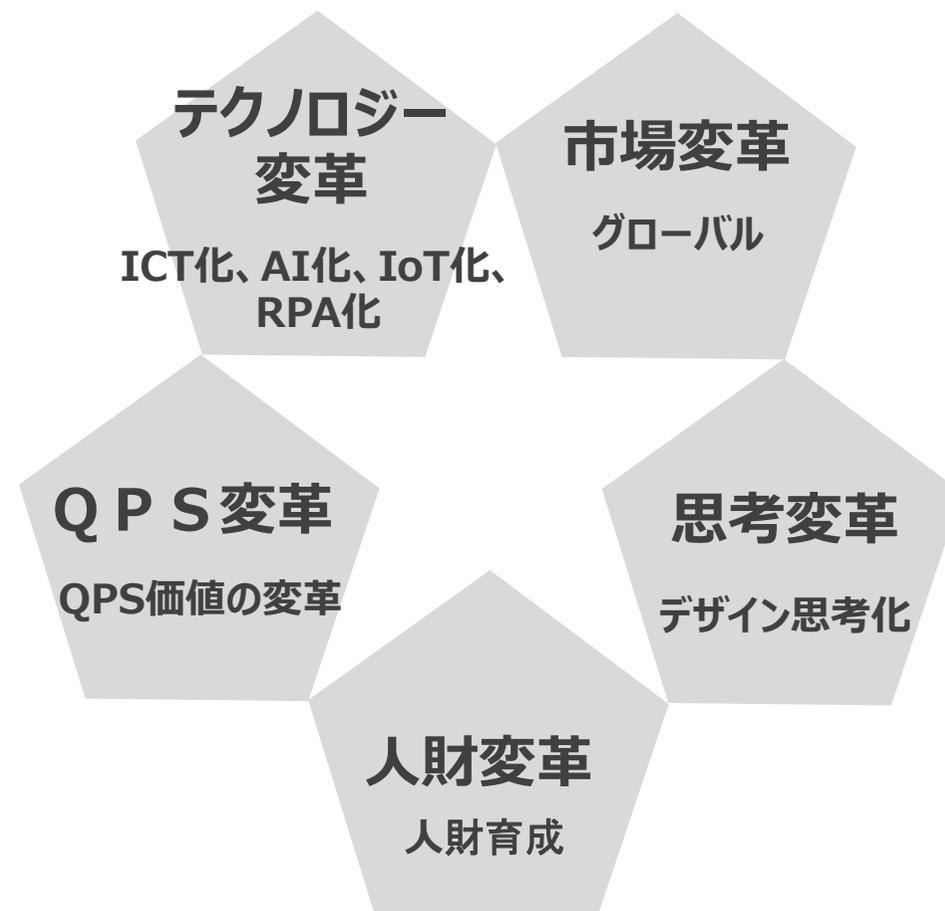
# ICTの徹底的な活用によるビジネス変革と拡大



グループ全体の価値創出をはかる、CMCグループ新創業の期

## ICTの徹底的な活用によるビジネス変革と拡大

# CMC GROUP 5つの変革



## 長期戦略

2030年を  
めざした取り組み

R&D戦略

### ① 新技術の活用

原価低減と新商材開発

売上  
UP

原価  
Down

組織戦略

### ② M&A・業務提携・産学連携

グループシナジーの向上

売上  
UP

グローバル戦略

### ③ グローバル市場の拡大

売上高海外構成比率を50%へ高める

売上  
UP

## 中期戦略

2019年9月期  
からの3カ年で注力

ビジネスモデル  
変革

### ① プラットフォーム型ビジネスへの参入

消費者に直接つながる仕組みをつくる

売上  
UP

### ② 上流情報のコーディネート

お客さま企業の設計情報を活用しやすいように整える

売上  
UP

### ③ 「モビリティ」市場へのスピード感のある対応

モビリティサービス分野へのスピード感とアジリティのある対応

売上  
UP

市場戦略

### ④ 注力市場の拡販

多様化する社会課題や市場ニーズに幅広く対応

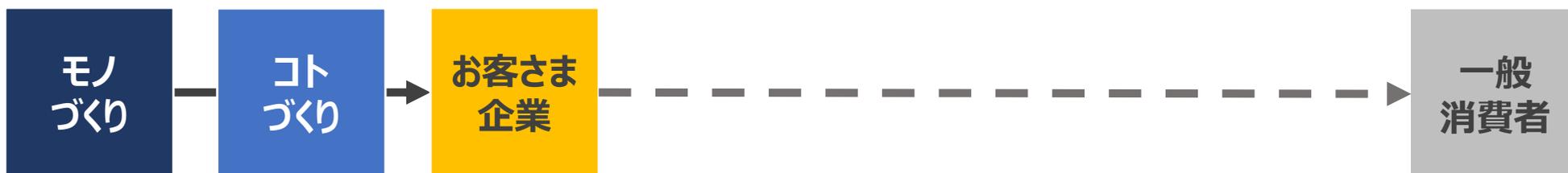
売上  
UP

# ①プラットフォーム型ビジネスへの参入

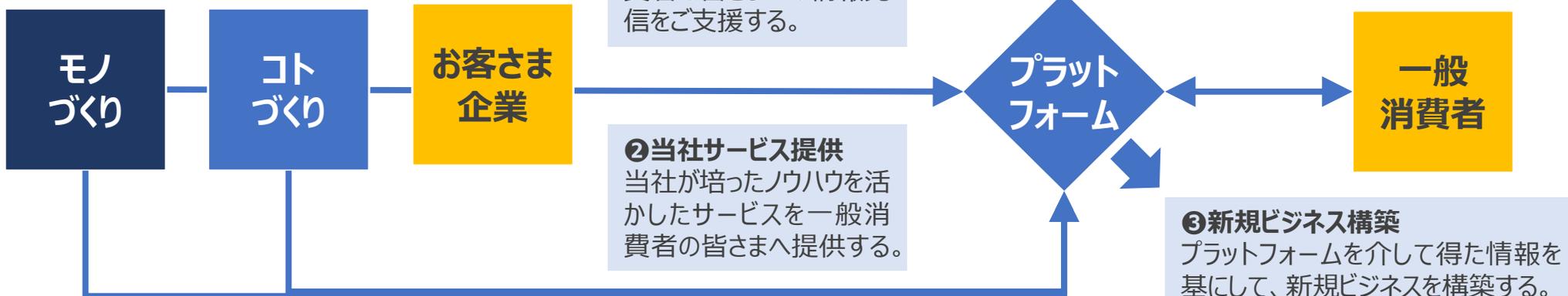
## 中期戦略

一般消費者の皆さまが快適にアクセスできる「プラットフォーム型ビジネス」への変革。  
 これまでの B to B のビジネスモデルに加え、  
 一般消費者の皆さまに直接つながる仕組みをつくることで新たな収益基盤を拡大する。

現在



現在+α





● **セールス&マーケティング本部設立**  
多様化する社会課題や市場ニーズに幅広く対応できる体制

● **海外統括本部設立**  
グローバル戦略立案の機能を強化  
海外13拠点のネットワークを更に強化

● **「医療・医薬品」**  
グループ連携により、ICTを活用したマーケティング支援業務を展開

● **「物流」**  
システム開発において、今後eコマースの拡大が見込まれる海外市場へ展開

● **「モビリティ（自動車）」**  
製品開発の上流で活用される設計情報から、ユーザーの皆さまに活用していただく情報まで、一連の情報の流れを付加価値をつけてコーディネート

● **「ロボティクス」**  
RPAソリューションを展開

● **「海外」**  
海外拠点と日本国内グループ間での「保有ノウハウ」、「海外先事例」の積極的な情報連携

● **モビリティ事業本部設立**  
市場の動きに対し、迅速かつ大胆な対応が可能

既存市場      注力市場      海外市場

## 市場戦略

## R&D戦略

● **ドキュメント領域のICT化**  
次世代CMS開発（コンテンツ管理）  
次世代コンテンツ制作の仕組み（エディター）開発  
データ変換および配信の仕組み開発

● **ビジネスモデル変革**  
コンテンツに快適にアクセスし、満足を得ていただくためのビジネスモデル（プラットフォーム型）への変革

● **新技術の積極活用と開発**  
AI、AR、VR、RPAなど

● **AI開発への継続的な投資**  
AI開発の継続とFalcon(※)連携

● **ICT本部設立**  
グループ内ICT機能を一元化

● **業務標準化のICT化**  
従来からの業務標準化の知見に加え、課題解決のためにRPAを導入

● **資本提携・M&A・アライアンス**  
産学連携、M&A、業務提携など、外部パートナーの知見を積極的に取り入れる



## ICT戦略

## 組織戦略

※Falcon  
(自然言語解析を基にした質疑応答システム)

# CMC GROUP

ご清聴ありがとうございました。

# 參考資料



### 株式会社シイエム・シイ

お客さま企業のマーケティング活動における戦略パートナーとして、お客さま企業の技術情報に関する知見を活かしたマニュアルなどの制作、業務標準化支援、及び、教育・研修といった一連のサービスにICTなどを活用して提供しております。



### 株式会社CMC Solutions

お客さま企業のICTに関する課題解決をトータルで支援するため、システムに関するコンサルテーション・構築・運用サポートをおこなっております。経営とICTに関わるコンサルティングサービス、システムインテグレーションサービス、さまざまな業務分野やプラットフォームに対応したアプリケーションソフトウェアを提供しております。



### 丸星株式会社

コンテンツマネジメントシステムをベースとし、マニュアル制作に関するプロセスのすべてを支援しております。システムティックな原稿作成からコンテンツの効率的な管理、翻訳までをトータルに手がけております。また、お客さま企業の社内向け従業員教育、教育コンテンツ作成や消費者向け販売促進、自動車ディーラーへのコンサルティング、各種調査などのマーケティング事業もソリューションとして提供しております。



### 株式会社メイン

講師ネットワークを保有し、店舗スタッフの接客スキル向上、接客スキルを競うコンテストの運営、駅構内における外国人対応など、CS向上をめざしたサービスを提供しております。



### 株式会社アサヒ・シーアンドアイ

医療・医薬品業界を専門にサービスを提供するコンテンツ制作会社として、大手製薬会社を中心にマーケティング活動を支援しております。



### 株式会社シミュラティオ

NICT（※）発のベンチャー企業であり、自然言語処理に強みを持つ人工知能（AI）の研究・開発に取り組んでおります。また、意味解析システム『Orca』・質問応答システム『Falcon』などによる自然言語処理ソリューションも展開しております。

※ NICT：国立研究開発法人情報通信研究機構  
(National Institute of Information and Communications Technology)

## North America

### アメリカ



CMC PRODUCTIONS USA INC.

## Europe

### ポーランド



Maruboshi Central & Eastern Europe Sp. zo.o.

### オランダ



Maruboshi Europe B.V.

### フランス



Maruboshi France S.A.R.L.

## Asia

### 中国



広州国超森茂森信息科技有限公司  
広州市丸星資訊科技有限公司

### 台湾



台灣丸星資訊科技股份有限公司

### タイ



CMC ASIA PACIFIC CO., LTD.  
Maruboshi (Thailand) Co., Ltd.

### シンガポール



CMC ASIA PACIFIC CO., LTD.

海外

8ヶ国 13拠点

この資料は、株式会社シイエム・シイ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は、投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

お問い合わせ先  
株式会社シイエム・シイ 経営企画部 IR担当 052-322-3386

IRサイト <http://www.cmc.co.jp/ir/>

**2019年9月期第1四半期決算発表は2019年2月13日15時以降を予定しております。**